

# 第49期 中間事業レポート

2017年4月1日 — 2017年9月30日



**新日本空調株式会社**

証券コード 1952





代表取締役社長 夏井 博史

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第49期第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に景気は緩やかな回復基調が続きましたが、欧米の政策に関する不確実性やアジアにおける地政学的リスクの高まりなどにより、景気の先行きは不透明な状況となっております。

建設業界におきましては、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた施設やインフラ整備、首都圏の再開発など拡大傾向が続いている中、一方では資機材の高騰懸念、サプライチェーンの構造変化、技能労働者・技術者不足などが課題として顕在化している状況で推移しています。

こうした環境の中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、完成工事高445億5千2百万円（前年同四半期比5.1%増）、営業利益4億9千万円（前年同四半期比55.3%減）、経常利益7億5百万円（前年同四半期比43.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億5千6百万円（前年同四半期比47.5%減）となりました。また、受注工事高につきましては、536億2千6百万円（前年同四半期比12.4%減）となりました。

なお、中間配当につきましては、前年同期と同じく1株につき10円とさせていただきます。

2017年度は、新たな中期経営計画『SNK Value Innovation 2020』の初年度です。

その基本方針を「地球環境の保全と持続可能な地球社会の実現に貢献する環境ソリューションカンパニーとして、顧客や社会の要請に応え、2020年代への持続的成長と新たな企業価値の創造を目指す」と定め、さらなる企業体質の進化を図るため、次の三つの経営課題を掲げています。

1. 顧客ロイヤルティの向上に向けた成長戦略の展開と推進
2. 安全・品質確保と生産性向上に向けた設計施工技術と情報技術の融合
3. 透明性の高い経営基盤の構築と社会ニーズに沿った経営資源活用の健全化

また、当社は本年3月に政府より発表された「働き方改革実行計画」に対応すべく、10月1日より社長直轄の組織として、執行役員を専任の室長とした「ワーキングイノベーション室」を設置しました。

当室は、当社グループにおけるワーク・ライフ・バランス実現のため、すべての職員の働き甲斐、幸福度の向上を図ることを目標に、

- 意識改革・人材育成による「ひとつづくり」
- 業務効率化・業務処理の見直しによる「生産性向上」
- 制度の見直しによる「働き方の多様性」

以上三つの観点から課題を掘り下げ、統一感を持って、横断的に働き方改革を推進していきます。

当社グループは、労働基準法改正後に適用が見込まれる時間外労働の上限規制にも適合できる働き方改革を目指しています。職員ひとりひとりが各職場で生き生きと働くことを通じて、企業価値をより一層高めることにより、中期経営計画の経営課題である「顧客ロイヤルティの向上」、「透明性の高い経営基盤の構築と社会ニーズに沿った経営資源活用の健全化」に努めていきます。

なお、中期経営計画初年度の数値目標としては、連結受注工事高1,120億円、完成工事高1,100億円、親会社株主に帰属する当期純利益30億円の達成を目指します。

株主の皆さまには、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## クリーンルーム向け横吹出し温度成層型空調システムを開発 建設コスト13%削減、空気搬送エネルギー55%削減

当社は、クリーンルームなどの大空間室内向けに「横吹出し温度成層型空調システム」(特許出願中)を開発しました。

近年の半導体工場では、製造空間に求められる温度、清浄度条件が緩和される一方で、より一層の省エネルギー化が求められています。また、製品と製造装置の高度化により、装置熱負荷が増加しており、天井にファンフィルタユニットを設置する従来の方式(天井FFUシステム)では、装置発熱による高温の上昇気流が天井からのダウンフローで冷却しきれずに熱だまりが発生する懸念があります。開発した当システムは、クリーンルームにおける省エネルギー化と装置発熱増加への対応を両立します。

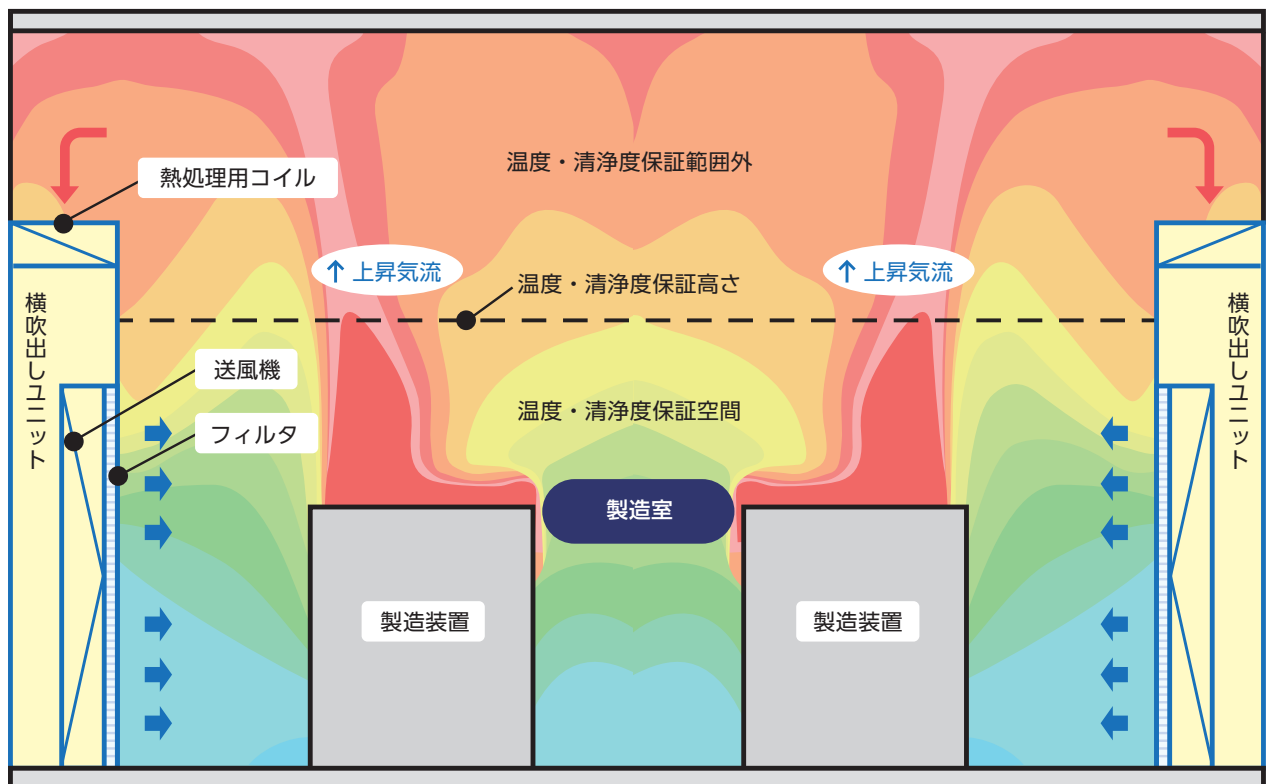
温度成層型空調システムは、室内全体の空気質を均一にする混合空調システムに対し、低層部を対象に空調を行う方式です。天井が高い製造室などにおいて、作業域の設計温度に対し小さい温度差で給気ができることや、空調風量を減らしても

作業域の空気質を良好に維持することを長所としています。当社はクリーンルーム向けとして、すでに天吊りノズルタイプを開発しておりますが、この度、新たに床置き横吹出しタイプのシステムを開発しました。

床置き横吹出しタイプは、誘引とふく流性能をあわせ持つ吹出口と、送風機、フィルタ、熱処理用コイルでユニット化し、そのユニットから横向きに吹き出される清浄空気が、装置発熱により発生する上昇気流を置換するように供給することで、従来より少ない送風量で対象空間の温度、清浄度を維持します。

従来の天井FFUシステムと比較し、内装工事を含む建設コストの13%、空気搬送エネルギーの55%をそれぞれ削減することができます(当社比)。

今後は当システムを、クリーンルームだけでなく大空間工場や電気室など幅広い用途へ適用し、省エネルギー化に貢献していきます。



横吹出し温度成層型空調システムのイメージ

## 高感度可視化技術への挑戦 微粒子可視化技術

当社は1990年代より、人の目では見られないさまざまな微粒子を可視化して映像化する「微粒子可視化技術」の開発を行ってきました。塵や埃など1/10,000mmの微小な粒子の挙動を可視化できる当技術は、エレクトロニクス関連の製造工場や空気清浄機など、家電製品の評価において長く活用されてきました。また、室内における気流や温度、粒子やガス濃度などCGを使い評価するコンピューターシミュレーションも行っています。

当社は、積み重ねてきた技術開発の成果をもとに、浮遊粒子をリアルタイムに映像化できる世界最高感度の撮影技術をもった、微粒子可視化システムを始めユニークな可視化技術による商品と、独自可視化ツール群を使用した専門技術スタッフの受託評価サービスを提供する技術ブランド「ViEST®」(ヴィエスト)を展開しています。

### ViEST®のラインナップの一部をご紹介します。

#### 浮遊微粒子を可視化する

- 浮遊する微粒子から十分な散乱光を得るために、異なる特性を持つ3種の専用光源
  - － 微小粒子や広範囲の可視化に必要な十分なパワーのシート状のレーザー光を生成する「パラレルアイH」
  - － ファイバを用いて、狭所でも取り回しの良いシート状レーザー光が生成できる「パラレルアイF」
  - － LEDで専用設計のもと、これまでの一般光源にはない高感度の撮影ができる「パラレルアイD」 **New**
- リアルタイムに画像処理して記録するソフトウェア「標準画像処理パッケージ」
- 極めて微弱な光を、ノイズなく、明るい環境でも十分な感度で撮影するために開発された「アイスコープ」
- 微粒子可視化技術をもとに、リアルタイム粒子計数技術を実用化した発塵量計測装置「L-Wind」 **New**



可視化光源「パラレルアイH」



可視化光源「パラレルアイF」



可視化光源「パラレルアイD」



超高感度カメラ「アイスコープ」

#### 気流を可視化する

当社の可視化システムの高感度特性が、より簡便に、より広い範囲の気流の撮影を可能にします。微粒子可視化システムにツールをプラスすると、高感度気流可視化システムとして応用できます。

- 環境を汚さず、クリーンルームでも安心して使用できる純水ミスト発生装置
  - － 小型でバッテリー駆動により、機動性の高い気流確認作業ができる「plusTRACER」
  - － 長時間、広い範囲の気流可視化ができる大容量発生器「plusFOG」 **New**
- 得られた映像から、簡単な操作で画像処理により気流分布を計測するソフト「plusPIV」

#### 表面に付着した異物や汚れを蛍光で可視化する

表面に付着する異物や汚れの多くが成分の違いにより、適切な波長の光を当てることで、異なる蛍光色を発する特性を利用し、照射光や反射光をカットするフィルタ越しに蛍光色のみを鮮明に可視化できる可視化ツールです。

- 適切な波長を照射できる専用ライトと専用ゴーグルとを組み合わせることにより、蛍光色を視認するツール「Dライト」
- 「Dライト」と専用カメラと専用画像処理ソフトを組み合わせた異物サイズや蛍光色の分析ツール「Dスコープ」 **New**

携帯型ミスト発生器  
「plusTRACER」大容量ミスト発生器  
「plusFOG」表面付着異物視認ツール  
「Dライト」表面付着画像分析ツール  
「Dスコープ」

今後も当社独自の微粒子可視化技術の向上とサービスの充実により、お客様の多様なニーズへの適合をさらに進化させていきます。



つくば三井  
ビルディング  
茨城県

りんくう永山病院 大阪府



上海協和アミノ酸 品質検査棟 中国・上海市



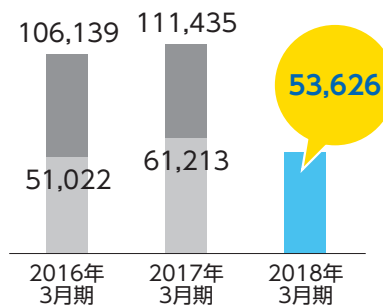
東京都民銀行 本店  
東京都

連結財務ハイライト

(単位：百万円)

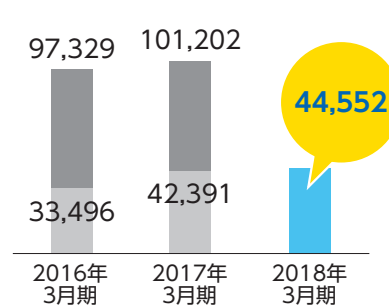
■ 受注工事高

■ 通期 ■ 第2四半期(累計)



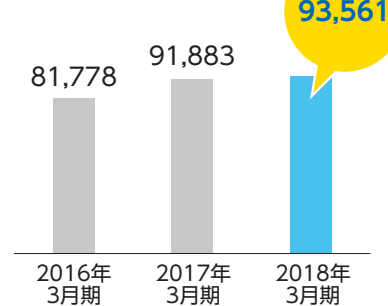
■ 完成工事高

■ 通期 ■ 第2四半期(累計)



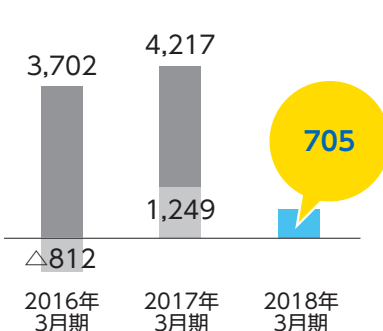
■ 繰越工事高

■ 第2四半期



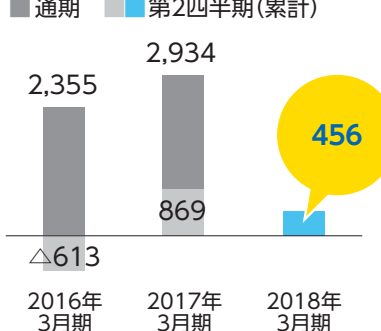
■ 経常利益

■ 通期 ■ 第2四半期(累計)



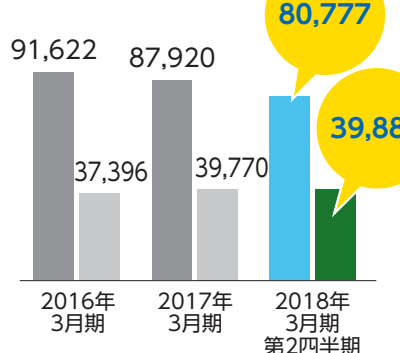
■ 親会社株主に帰属する  
四半期(当期)純利益

■ 通期 ■ 第2四半期(累計)



■ 総資産・純資産

■ 総資産 ■ 純資産



## ■ 当社の概要

商号	新日本空調株式会社 Shin Nippon Air Technologies Co., Ltd.
設立年月日	昭和44年10月1日
本社所在地	〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2丁目31番1号 浜町センタービル
資本金	51億5,860万円
従業員数	1,556名(連結)、1,067名(単体)

## ■ 株式の状況

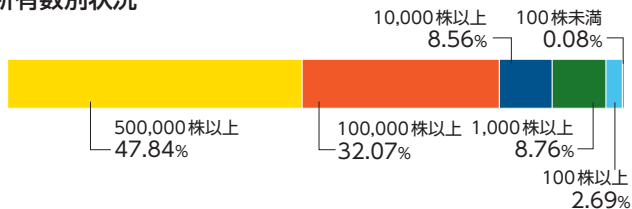
発行可能株式総数	84,252,100株
発行済株式の総数	25,282,225株
株主数	4,992名

## ■ 大株主

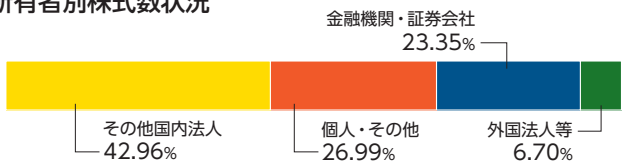
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
新日本空調協和会	2,027	8.01
三井物産株式会社	1,266	5.00
株式会社東芝	1,255	4.96
株式会社三井住友銀行	1,006	3.98
三井住友信託銀行株式会社	1,000	3.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	993	3.92
新日本空調従業員持株会	972	3.84
インタートラストトラスティーズ(ケイマン) リミテッド ソールリー イン イッツ キャパシティー アズトラスティー オブ ジャパン アップ	962	3.80
日本電設工業株式会社	760	3.00
株式会社東京エネシス	571	2.26

## ■ 株式分布状況

### 所有数別状況



### 所有者別株式数状況



個人・その他	4,641名	外国法人等	59名
その他国内法人	237名	金融機関・証券会社	55名

## ■ 役員

代表取締役社長	夏井 博史	取締役 上席執行役員	山田 勇夫
専務取締役 専務執行役員	宇佐美 威司	社外取締役 (非常勤)	森信 茂樹
常務取締役 常務執行役員	洲野 聡志	社外取締役 (非常勤)	水野 靖史
常務取締役 常務執行役員	赤松 敬一	社外監査役	吉岐尾 透
常務取締役 常務執行役員	大宮 祥光	監査役	楠田 守雄
取締役 上席執行役員	下元 智史	社外監査役 (非常勤)	鶴野 隆一
取締役 上席執行役員	遠藤 清志	社外監査役 (非常勤)	城之尾 辰美

## ■ 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 6月開催

基準日 定時株主総会 3月31日  
 期末配当 3月31日  
 中間配当 9月30日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話お問合せ先 ☎ 0120-782-031

1単元の株式数 100株

公告方法 電子公告の方法により、当社ホームページの下記アドレスに掲載して行います。  
<http://www.snk.co.jp/>  
 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

各種手続き 氏名・住所変更、単元未満株式の買取等、株式に関する各種お手続きは、ご利用の証券会社へお問合せください。  
 なお、未払配当金のお支払いおよび特別口座に関するお問合せについては、三井住友信託銀行にて承っております。

**未払配当金および特別口座に関するお問合せ先**  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 ☎ 0120-782-031 (受付時間:平日 9:00~17:00)  
 URL:<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

### 株主優待のご案内

#### 対象となる株主さま

- 毎年3月31日現在の株主名簿に記録された300株以上の株式を保有する株主さま
- 毎年9月30日現在の株主名簿に記録された300株以上の株式を保有する株主さまのうち、2年以上継続して保有している株主さま

#### 優待品・贈呈時期

- 2,000円相当のカタログギフト 毎年6月下旬予定
- キッズスマイルQUOカード1,000円分 毎年12月上旬予定